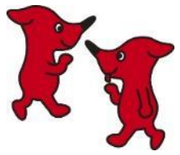
第１２回千葉県障害者グループホーム大会
参加申し込み書



千葉県マスコットキャラクター
ちーばくん

◆ お申し込み方法 ◆

下記の申込欄に必要事項をご記入の上、ＦＡＸかメールにてお申し込みください。
締め切りは、令和３年１月２７日(水)です。

ＦＡＸ：043-222-4133（送信票不要）
メール：chiba.ghw@gmail.com
ＱＲコードでもお申し込みいただけます。→

※メールアドレスは大文字、小文字など分かるように記載をお願いします。

フリガナ お名前	市町村	ご所属	ご連絡先	メールアドレス

＊ お申込みいただいた、メールアドレスにＹＯＵＴＵＢＥのＵＲＬをお送りいたします。

＊ ご視聴後、アンケートにご協力ください。

＜ お問い合わせ ＞

ＦＡＸの申し込み ⇒ **043-223-2308**　千葉県障害福祉事業課　担当：遠藤
メール・ＱＲコードの申し込み ⇒ **0479-60-2578**　海匝ネットワーク　担当：林

第１２回
千葉県障害者グループホーム大会

誰もが、ありのままに地域で暮らす･･･
今、グループホームにできること

配信方法：ＹＯＵＴＵＢＥ
配信期間：令和３年２月１日（月）～２月１５日（月）

「障害のある方が地域で暮らす家」としてグループホームの制度創設から、今年で３２年目になります。全国のグループホーム利用者は１３万人以上となり、その数は障害者支援施設を超えました。

当初グループホームに入居できるのは、就労している知的障害者だけでしたが、現在では障害種別・支援の軽重を問わず、あらゆる方が利用できるようになりました。

地域の中でグループホームに求められることも、年々大きくなっています。「誰もが、ありのままに、その人らしく暮らす家」となるために、グループホームにできることは何か？を、もう一度考えてみませんか？

主催：千葉県・千葉県障害者グループホーム等支援事業連絡協議会

後援依頼予定：千葉市・船橋市・柏市・障害のある人と援助者でつくる日本グループホーム学会
千葉県障害者グループホーム等連絡協議会・千葉県生活ホーム連絡協議会
習志野圏域障害者グループホーム等連絡協議会・市川圏域障害者グループホーム等連絡協議会
松戸圏域障害者グループホーム等連絡協議会・野田圏域障がい者グループホーム等連絡協議会
印旛圏域障害者グループホーム等連絡協議会・安房圏域障害者グループホーム等連絡協議会
君津圏域障害者グループホーム等連絡協議会・香取圏域障害者グループホーム等連絡協議会

お電話によるお問い合わせ ⇒ **043-223-2308**　千葉県健康福祉部障害福祉事業課事業支援班
担当：遠藤

第１２回千葉県障害者グループホーム大会

あいさつ

主催者挨拶　千葉県健康福祉部障害福祉事業課　課長　原見　律子
千葉県障害者グループホーム等支援事業連絡協議会　会長　白井　正和

基調講演

「 誰もがありのままに、地域で暮らす・・・支援の原点 」

グループホームは年々増え、入居者もグループホームの形態も多様化しています。
今年度は新型コロナウィルスへの対応を通し、グループホームでの生活の在り方・支援の在り方・日中サービス提供機関との連携の在り方等が問われました。
また千葉県では、強度行動障害の方々を支援してきた袖ケ浦福祉センターが令和４年度末までに廃止されることが決まりました。入居者の住まいは、民間の入所施設やグループホームなど、一人ひとりの障害特性に応じた多様な住まいをできる限り各地域に分散して確保する方針となりました。
「一人一人に見合った暮らし」を支援する際の原点、グループホームの実践を通して見えたこと、グループホームの現状と課題、今後の在り方等を、グループホームの歴史を踏まえお話していただきます。

登壇者：社会福祉法人さざんか会　理事長　宮代　隆治　氏

千葉県マスコットキャラクター
ちーばくん

分科会

01　シンポジウム「 地域と繋がるグループホームを創るために 」

新型コロナウイルス感染症防止対策、多様な障害特性を抱えた方への支援など、GHのみで入居者の暮らしを支えることは、困難になっています。安心で豊かな暮らしを送るための原点と方向性について、お話しいただきます。

コーディネーター：社会福祉法人ロザリオの聖母会　ナザレの家あさひ　所長　荒井　隆一　氏
登壇者：社会福祉法人彩会　事務局長　橋本　めぐみ　氏
社会福祉法人三芳野会　グループホームみよしの　管理者　岡田　まゆみ　氏
特定非営利活動法人みのり福祉会　理事長　立田　芳弘　氏

02　グループホーム従事者のメンタルケア ＷＩＴＨ コロナ

入居者が安心した生活を送るためには、支援者自身のメンタルケアが重要です。コロナ禍においてグループホーム従事者が受けるストレスとそのケアについて学びます。

登壇者：ここからクリニック　院長　佐多　範洋　氏
仙台市グループホーム連絡会　事務局長　横谷　聡一　氏
コーディネーター：長生・夷隅圏域障害者グループホーム等支援ワーカー　金沢　千絵

03　多様生活探訪　～ 一つじゃない、グループホームでの様々な暮らし方 ～

グループホームは、様々な障害のある方の住まいです。重い障害を持ちつつ車いす生活を送っている方、行動に重い障害をお持ちの方、グループホームのサテライトに住んでいる方に、グループホームへの思い・将来に向けての夢・希望等、取材を通して聞いてみました。

登壇者：県内３名の入居者の方

04　障害者グループホームとは？　～ サービス内容について知ろう ～

障害者グループホーム（以下ＧＨ）とはどんなところだろう？名前は聞いたことあるが詳しいことはわからないなど、ＧＨを一から知りたい方へ、生活の様子やお金のことなど基本的な説明をしていきます。

発表者：市原圏域障害者グループホーム等支援ワーカー　相川　大祐